



株式会社 オプトラン

2025年12月期3Q(7-9月)連結決算説明会

2025年12月期3Q連結概要と通期ガイダンス

2025年11月11日

□ 将来の見通しについて

本資料には、「将来の見通しに関する記述」が含まれています。この記述には、当社の事業と市場における予想される成長と傾向、業界の見通しと需要要因、当社の投資と成長戦略、新製品と新技術の開発、現在および今後の事業見通しに関するものが含まれます。今後、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、予想・計画見通しと大きく異なる可能性があります、更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

□ 為替リスクについて

当社の主力製品である製造装置の輸出売上高は、米ドル建ての依存度が高いことから、米ドルの為替変動の影響を受けます。製造原価は、中華圏生産の依存度が高いことから、中国元の変動影響を受けます。業績見通しの為替前提は、過去の実績を踏まえて想定し、為替変動影響の軽減を目指しています。輸出先は中華圏の依存度が高いものの、最終需要先は世界的に広がっています。相互関税の影響に備えて、生産・開発体制として日本、中華圏、ベトナム、インドなどでの拠点拡充を計画しています。

2025/12期の為替前提は145円/ドル、21.0円/人民元。営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円の影響があります。

□ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針として、中期経営目標において「営業利益率20%以上」、「ROE(自己資本利益率)10%以上」、「連結配当性向30%以上」、などを定めています。キャッシュ・アロケーションとして、株主価値の向上にむけて、安定配当と機動的な自己株式取得を行う想定にしております。加えて、持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資やM&A・事業提携などを戦略的に実施することも計画しています。

□ 問い合わせ先

問い合わせ先は、E-mail: ir-info@optorun.co.jp

Webサイト: <https://www.optorun.co.jp>

□ 実質(継続ベース)受注高の2025年12月期3Q実績と通期ガイダンス

3Qの実質受注高は前四半期比18%増(前年比68%増)の105億円と社内の想定線と比較して32億円過達でした。4Qの出足はAIスマートフォン(スマホ関連)を中心として堅調に推移しているため、通期は従来予想の前年比20%増から同3割増に引き上げます。3Qの内訳はスマホ関連が前四半期比14%減と減少しましたが、半導体光学融合・電子デバイスが同5倍、EV/コネクテッドカー(自動車関連)が同2倍と増加し、光学部品もデータセンター(DC)関連需要の増加により同5%増と高水準を持続しました。

□ 連結業績の3Q概要と通期業績のガイダンス

3Q連結業績は収益性の高いALD装置の貢献度の低下により、前年比16%増収、同27%営業減益、営業利益率が17.5%(同▲10.4%pts)と増収減益に留まりましたが、社内計画と比較して売上高で+17億円、営業利益で+6億円上振れました。3Qの粗利益率は収益性の高い新型装置の貢献により、38.5%と2Qの32.7%から上昇しました。通期業績計画は3Qが社内想定より業績が改善しましたが、従来業績予想を保守的に据え置きました。良好な受注を踏まえた戦略的な先行開発増を考慮しています。

□ スマホ、自動車やデータセンター(DC)業界環境に変化

世界のスマホ市場は3Qが新製品効果で弊社想定より、成長率が高まりました。来年以降はフォルダブルや新機能カメラシステム搭載の新製品投入に対応する薄膜装置のビジネス機会が到来すると見られます。自動車分野では、ADAS(先進運転支援システム)センサーの標準搭載が7-8月において停滞したものの、4Q以降以降、高付加価値化が進展する模様です。AIデータセンター分野では、WDM(波長分割多重)向け光通信用多層膜フィルタ成膜装置の受注が増加しており、新分野の装置開発も進めています。

□ 出資企業のMicro-OLEDの専門メーカーであるSeeYa Technologyは上場を申請

当社はXR-ARデバイス市場の開拓を前提にMicro-OLEDの専門メーカーであるSeeYa Technology(視涯科技)に出資しています。同社は2025年6月26日に上海証券取引所の科学技術革新委員会(科创板、STAR Market)に上場申請書を提出し、上海証券取引所は上場申請を同6月28日に受理しました。今後のスケジュールは未定だが、年内には科创板に上場する可能性があります。当社はSeeYaに3.89%出資し、関係会社株式として26.3億円(24/12期末)を貸借対照表に計上しています。

□ AIスマートフォン関連(スマホ)

世界スマホ販売台数の当社予想は2025年が前年比3.4%増の12億3,200万台と従来予想の12億2,000万台(同2.4%増)から引き上げます。四半期別には、1Qが前年比2.7%増、2Qが同4.5%増、3Qが同3.6%増と推移し、4Qを同3.0%増と予想。3Qは中国市場が成長率が鈍化した、米国市場が想定より上伸し、インド市場が高付加価値モデルの投入効果で2桁成長を遂げた。中期的にスマホ販売台数はAI機能搭載製品やフォダブル新製品の増加により、代替需要を喚起すると期待されます。

□ ADASセンサー技術搭載のEV/コネクテッドカー関連(自動車)

新エネ車市場はADASセンサー技術の普及により高付加価値化が期待され、当社の光学薄膜装置の需要増が見込まれます。ADASセンサー関連市場のうち、CMOSイメージセンサーは2024年の600万台から2025年には1,200万台に拡大すると予想。搭載個数は前年、今年とも1台当たり平均12個ながら、性能は前年の4Mピクセルから今年には8Mピクセルと高精細化が進展する見通し。ADASセンサーはCMOSセンサーが自動車1台に複数個搭載しますが、LiDARは1-2個/台のため、今後の普及率の指標となります。

□ AIデータセンター用光トランシーバ関連(光学部品領域に含む)

祖業である光通信用多層膜フィルタ向け光学薄膜装置はデータセンターの需要増から引き合いが増加している。同分野はセンター内のCWDM(粗波長分割多重)やセンター間のDWDM(高密度波長分割多重)に分類され、最近の需要は前者と後者の比率が4:1。同フィルタは特定波長を透過させ、それ以外の光をカットさせる光部品で、800Gbps光トランシーバ製品では8個、新製品の1.6Tbps製品で16個搭載される。当社の受注高は前期が数億円でしたが、通期は前年比倍増の予想。

□ XR(クロスリアリティ、VR(仮想現実)/AR(拡張現実)/MR(複合現実)の総称)関連

XR市場はMicro-OLEDと導波路技術を搭載した軽量ARグラスがAI機能を搭載することで新製品の投入が増加し、2025年市場が活性化しています。さらに、2026年は新製品の増加で市場が拡大する可能性があります。当社は資本業務提携しているAIメカテックと共同で事業運営しているナノリソティックスにおいて、XR市場の新製品開発のサポートに尽力しています。XR・ARグラスはAIグラスと名称を変えて、中国及び米国企業が相次いで新製品を発表し、Micro-OLED向け装置需要が顕在化しています。

業績と予想



図表1：業績及び1株当たり指標、株価バリュエーション

決算期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主当期純利益		EPS	DPS	PER	PBR	株価	営業利益率	ROE
	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	百万円	前年比%	円	円	倍	倍	(期末、円)	%	%
年間															
2017/12	33,386	124.0	7,327	207.9	7,095	249.5	4,815	228.3	134.6	40.00	21.3	5.18	2,860	21.9	29.0
2018/12	44,763	34.1	10,690	45.9	10,993	54.9	7,746	60.9	187.6	55.00	9.0	2.48	1,680	23.9	30.6
2019/12	42,822	-4.3	10,879	1.8	11,031	0.3	9,102	17.5	216.7	60.00	13.9	3.67	3,015	25.4	29.0
2020/12	37,491	-12.4	8,628	-20.7	8,610	-21.9	6,797	-25.3	159.1	50.00	13.3	2.29	2,109	23.0	18.3
2021/12	30,892	-17.6	7,025	-18.6	7,901	-8.2	6,330	-6.9	146.8	50.00	16.2	2.23	2,376	22.7	14.8
2022/12	34,304	11.0	7,449	6.0	8,763	10.9	6,890	8.8	159.0	50.00	14.1	1.87	2,242	21.7	14.0
2023/12	36,807	7.3	9,752	30.9	6,051	-30.9	4,632	-32.8	106.1	50.00	15.4	1.27	1,631	26.5	8.5
2024/12	32,406	-12.0	6,570	-32.6	8,191	35.4	6,351	37.1	145.3	52.00	13.0	1.35	1,888	20.3	11.0
2025/12 予	33,000	1.8	3,800	-42.2	4,000	-51.2	3,250	-48.8	81.5	54.00	19.3	-	1,576	11.5	-
半年期															
															年換算
2023/06	20,925	54.9	6,662	102.3	4,264	-4.6	3,471	18.9	79.7	0.00	15.2	1.91	2,423	31.8	13.1
2023/12	15,882	-23.6	3,089	-25.7	1,788	-58.4	1,161	-70.8	26.6	50.00	30.7	1.27	1,631	19.5	4.3
2024/06	16,678	-20.3	3,942	-40.8	4,417	3.6	3,173	-8.6	72.4	26.00	13.9	1.45	2,020	23.6	10.9
2024/12	15,728	-1.0	2,628	-14.9	3,774	111.1	3,178	173.7	72.7	26.00	13.0	1.35	1,888	16.7	11.1
2025/06	13,850	-17.0	1,108	-71.9	1,112	-74.8	1,106	-65.2	27.0	27.00	30.2	1.24	1,633	8.0	3.9
2025/12 予	19,150	21.8	2,692	2.4	2,888	-23.5	2,144	-32.5	54.5	27.00	14.5	-	1,576	14.1	-
四半期															
															年換算
2023/03	9,063	77.1	2,614	253.1	1,815	64.4	1,403	133.0	32.2	0.00	17.2	1.85	2,214	28.8	11.4
2023/06	11,862	41.4	4,049	58.6	2,449	-27.2	2,068	-10.8	47.4	0.00	12.8	1.91	2,423	34.1	15.7
2023/09	8,009	-29.0	1,905	-35.4	1,071	-67.3	628	-78.6	14.4	0.00	32.0	1.41	1,839	23.8	4.6
2023/12	7,874	-17.2	1,184	-1.8	716	-29.5	533	-48.3	12.2	50.00	33.5	1.27	1,631	15.0	3.9
2024/03	11,298	24.7	3,965	51.7	4,325	138.3	3,284	134.1	75.0	0.00	6.9	1.54	2,068	35.1	23.7
2024/06	5,380	-54.6	-23	-	92	-96.2	-110	-	-2.5	26.00	-	1.45	2,020	-0.4	-0.8
2024/09	8,511	6.3	2,377	24.8	2,549	137.9	2,267	261.1	51.5	0.00	8.6	1.32	1,778	27.9	15.6
2024/12	7,217	-8.3	251	-78.8	1,225	71.0	911	70.9	21.2	26.00	22.3	1.35	1,888	3.5	6.3
2025/03	7,905	-30.0	756	-80.9	740	-82.9	809	-75.4	19.3	0.00	19.7	1.13	1,526	9.6	5.6
2025/06	5,945	10.5	352	-	372	303.4	296	-	7.7	27.00	53.0	1.24	1,633	5.9	2.1
2025/09	9,860	15.8	1,727	-27.3	1,475	-42.1	959	-57.7	24.1	0.00	17.3	1.24	1,664	17.5	6.8

注：会計基準は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入で算出、予は中間決算時発表、2025/12期欄の株価は11月7日終値

受注高および業績とガイダンス



図表2: 受注高、業績及び1株当たり指標・財務指標(単位:百万円、円、%、円/ドル)

決算期	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12	2024/12				2025/12				
項目	予						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	Q/Q%	YoY%
受注高	28,606	35,435	43,124	24,080	32,345		11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	8,106	10,956	35.2	161.4
受注高(実質)				20,316	28,841	+30%	9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	8,848	10,453	18.1	67.7
受注残高	23,583	28,126	36,947	24,219	24,159		24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	26,114	27,211	4.2	25.6
売上高	37,491	30,892	34,304	36,807	32,406	33,000	11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	5,945	9,860	65.8	15.8
売上総利益	14,682	13,390	14,948	18,454	14,499		5,917	2,168	4,094	2,319	2,613	1,947	3,793	94.8	-7.3
研究開発費	3,151	3,065	3,410	4,329	3,397	3,500	908	1,029	657	803	921	863	947	9.7	44.1
営業利益	8,628	7,025	7,449	9,752	6,570	3,800	3,965	-23	2,377	251	756	352	1,727	390.4	-27.3
営業外収益	261	980	1,339	386	1,996		462	331	633	1,491	366	178	-16	-	-
営業外費用	280	104	25	4,086	376		102	216	462	518	381	158	236	49.0	-48.9
経常利益	8,610	7,901	8,763	6,051	8,191	4,000	4,325	92	2,549	1,225	740	372	1,475	296.7	-42.1
税前利益	8,678	8,773	9,405	5,998	8,185		4,321	92	2,547	1,225	739	368	1,474	300.3	-42.1
法人税等	1,874	2,440	2,512	1,325	1,807		1,030	165	251	361	-33	108	526	385.7	109.7
親会社株主当期純利益	6,797	6,330	6,890	4,632	6,351	3,250	3,284	-110	2,267	911	809	296	959	223.7	-57.7
1株当たり当期純利益	159.1	146.8	159.0	106.1	145.3	81.5	75.0	-2.6	51.5	21.5	19.3	7.7	24.1	212.1	-53.3
1株当たり配当金	50.0	50.0	50.0	50.0	52.0	54.0	0.0	26.0	0.0	26.0	0.0	27.0	0.0	-	-
1株当たり純資産	919.0	1,066.0	1,199.1	1,285.3	1,403.3		1,343.9	1,388.5	1,347.0	1,403.3	1,345.6	1,318.8	1,345.2	2.0	-0.1
円/ドル(期末)	103.50	115.02	132.70	141.83	158.18	145.00	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	-4.07	-6.15
円/ドル(期中平均)	106.76	109.90	131.62	137.97	148.12	145.00	144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	148.40	147.46	0.94	1.99
売上高総利益率	39.2	43.3	43.6	50.1	44.7		52.4	40.3	48.1	32.1	33.1	32.7	38.5	5.7	-9.6
売上高研究開発費率	8.4	9.9	9.9	11.8	10.5	10.6	8.0	19.1	7.7	11.1	11.6	14.5	9.6	-4.9	1.9
売上高営業利益率	23.0	22.7	21.7	26.5	20.3	11.5	35.1	-0.4	27.9	3.5	9.6	5.9	17.5	11.6	-10.4
売上高経常利益率	23.0	25.6	25.5	16.4	25.3	12.1	38.3	1.7	29.9	17.0	9.4	6.3	15.0	8.7	-15.0
法人税率	21.6	27.8	26.7	22.1	22.1		23.8	179.3	9.9	29.5	-4.4	29.4	35.7	6.3	25.8
売上高当期純利益率	18.1	20.5	20.1	12.6	19.6	9.8	29.1	-2.1	26.6	12.6	10.2	5.0	9.7	4.7	-16.9
自己資本利益率	18.3	14.8	14.0	8.5	11.0		23.7	-0.8	15.6	6.3	5.6	2.1	6.8	4.7	-8.8

注: 会計基準は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入で算出、1株当たり当期純利益は親会社株主に帰属する数値、利益率の前年比%欄は前年比増減

貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書



図表3:貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)

項目	決算期	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	構成比	1Q	2Q	3Q	4Q	2024/12	2025/12	3Q	構成比
資産の部															
現金及び預金		22,723	32,274	34,923	33,054	32,531	39.9	33,329	32,193	30,967	32,531	29,571	27,784	30,211	37.9
受取手形・売掛金		9,426	5,627	7,423	4,882	4,355	5.3	3,206	4,353	4,518	4,355	3,540	4,116	4,518	5.7
棚卸資産		11,147	12,855	20,430	17,989	15,763	19.4	16,213	18,670	16,804	15,763	14,687	15,413	15,250	19.1
流動資産		44,572	53,145	65,401	57,632	54,572	67.0	55,184	57,372	54,410	54,572	49,143	48,826	51,499	64.6
有形固定資産		3,194	4,527	8,835	11,407	14,152	17.4	11,874	13,450	13,300	14,152	13,273	13,127	13,019	16.3
無形固定資産		822	677	541	424	210	0.3	381	339	259	210	148	94	39	0.0
投資その他の資産		5,740	6,326	8,139	9,029	12,505	15.4	9,521	10,322	9,321	12,505	15,113	15,034	15,216	19.1
資産合計		54,327	64,675	82,916	78,491	81,440	100.0	76,959	81,482	77,289	81,440	77,677	77,081	79,773	100.0
負債の部															
支払手形・買掛金		1,703	3,246	4,785	1,284	1,083	1.3	2,326	1,848	1,657	1,083	1,793	2,238	2,343	2.9
短期有利子負債		489	472	414	406	414	0.5	403	402	402	414	414	413	412	0.5
契約負債		8,922	9,831	19,060	14,743	9,731	11.9	9,441	10,841	9,308	9,731	9,288	11,981	12,859	16.1
流動負債		13,655	17,057	28,400	19,097	14,766	18.1	14,812	16,895	14,630	14,766	13,753	16,948	18,158	22.8
繰延税金負債		642	1,181	1,929	2,021	2,625	3.2	2,174	2,385	2,239	2,625	2,450	2,544	2,769	3.5
長期有利子負債		81	16	5	8	4,649	5.7	8	6	5	4,649	4,463	4,414	4,616	5.8
純資産		39,515	46,084	52,159	56,916	59,002	72.4	59,510	61,810	60,022	59,002	56,586	52,741	53,811	67.5
自己資本		39,488	46,070	52,141	56,316	58,689	72.1	58,881	61,114	59,339	58,689	56,363	52,571	53,624	67.2
連結キャッシュフロー							売上高比	上期	下期	上期					
営業活動によるキャッシュフロー		-535	10,686	8,561	3,180	5,050	15.6	-	1,353	-	3,697	-	5,336	-	-
有形固定資産取得		-760	-940	-4,380	-3,116	-3,115	-9.6	-	-1,505	-	-1,610	-	-361	-	-
投資活動によるキャッシュフロー		-1,048	376	-4,396	-3,599	-7,701	-23.8	-	-1,618	-	-6,083	-	-2,288	-	-
フリーキャッシュ・フロー		-1,583	11,061	4,165	-419	-2,651	-8.2	-	-265	-	-2,386	-	3,048	-	-
自己株式取得		-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-4,794	-14.8	-	0.0	-	-4,794	-	-4,188	-	-
配当金支払額		-2,543	-2,145	-2,164	-2,174	-3,334	-10.3	-	-2,190	-	-1,144	-	-1,086	-	-
財務活動によるキャッシュフロー		-2,467	-2,735	-2,173	-2,207	-3,807	-11.7	-	-2,168	-	-1,638	-	-5,174	-	-

注:数値は百万円以下を四捨五入で算出、受取手形・売掛金は貸倒引当金を考慮、有利子負債は借入金とリース債務の合計、契約負債は従来前受金で表記

事業領域別受注高および売上高の詳細



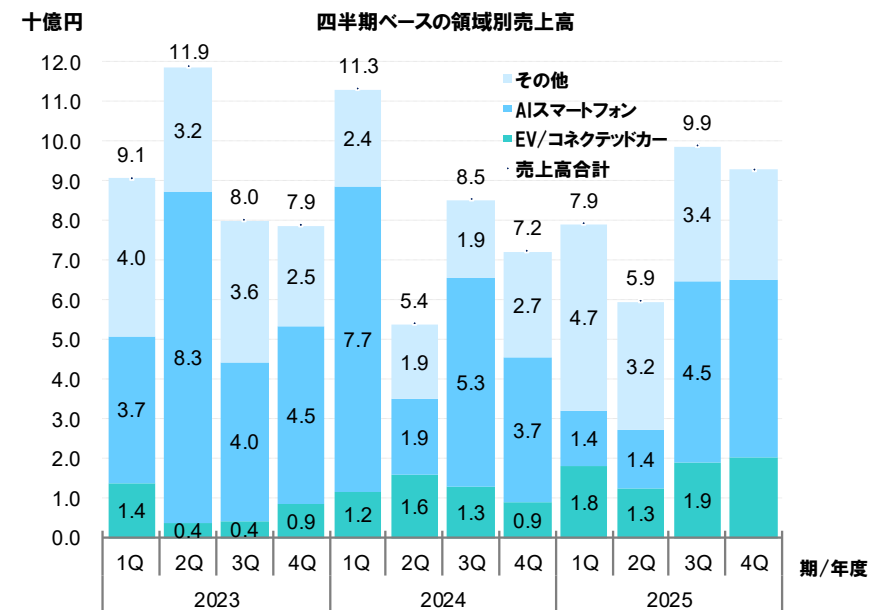
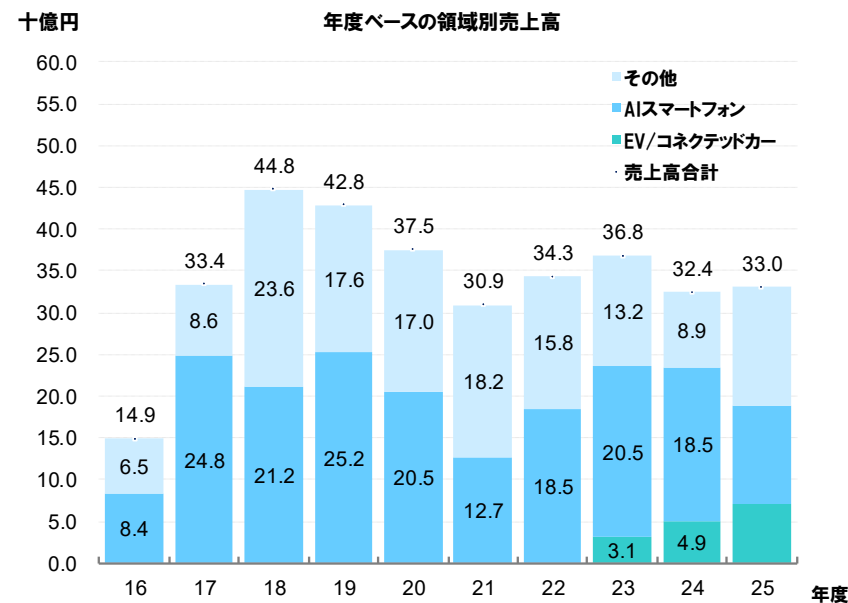
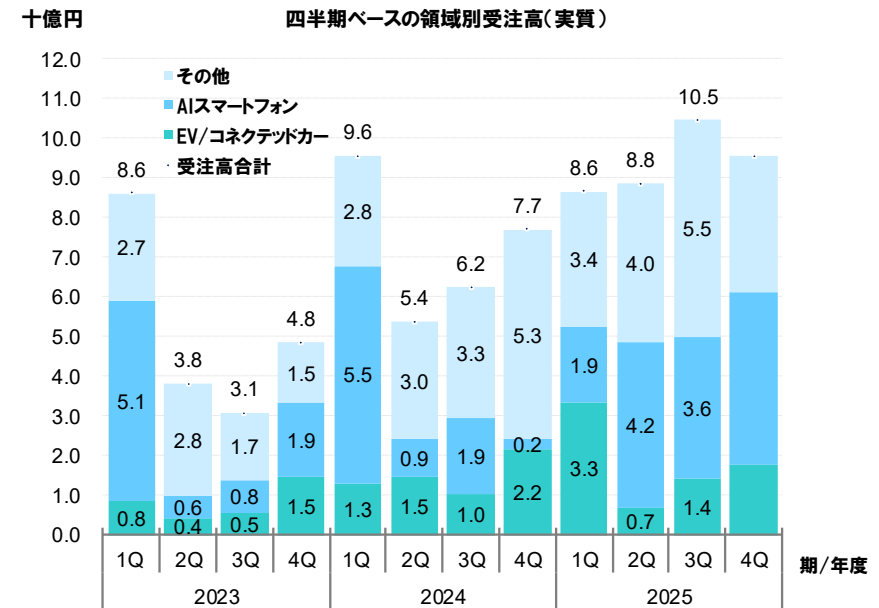
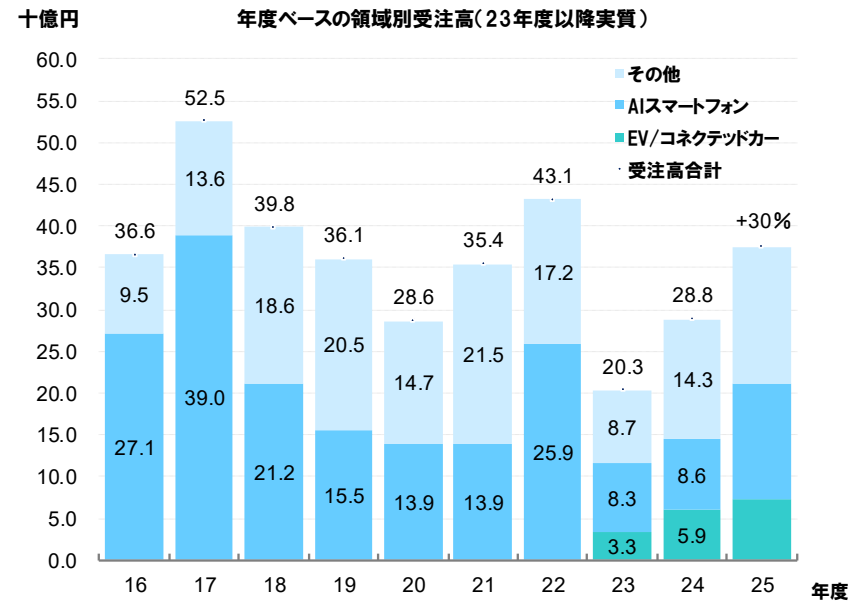
図表4: 事業領域別受注高及び売上高(単位:百万円、円/ドル、%)

	年度・四半期	2023	2024	2023				2024				2025				
項目				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	Q/Q%	YoY%
受注高																
光学		15,973	22,753	7,386	2,214	2,415	3,958	7,952	3,783	5,056	5,962	7,094	7,626	7,909	3.7	56.4
AIスマートフォン		8,305	8,558	5,053	550	845	1,857	5,487	944	1,896	231	1,906	4,164	3,582	-14.0	88.9
EV/コネクテッドカー		3,274	5,939	846	421	544	1,463	1,299	1,452	1,022	2,166	3,337	685	1,410	106.0	38.0
光学部品		4,393	8,256	1,486	1,243	1,026	638	1,165	1,386	2,139	3,566	1,851	2,778	2,917	5.0	36.4
半導体光学融合・電子デバイス		1,826	2,785	455	948	52	371	615	141	950	1,079	838	366	1,835	400.8	93.1
パーツサービス・他		2,518	3,304	770	641	602	505	985	1,444	225	649	713	855	710	-17.0	215.1
受注高小計		20,316	28,841	8,610	3,802	3,069	4,835	9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	8,848	10,453	18.1	67.7
為替影響		3,764	3,504	953	2,283	1,229	-701	1,584	1,933	-2,040	2,026	-945	-742	503	-	-
受注高合計		24,080	32,345	9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	8,106	10,956	35.2	161.4
ALD装置比率 (%)		7%	10%	6%	0%	7%	16%	24%	4%	0%	3%	0%	5%	2%	-3%	2%
新型装置比率 (%)		23%	39%	11%	29%	22%	39%	40%	28%	31%	51%	49%	46%	30%	-16%	-2%
受注残高		24,219	24,159	37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	26,114	27,211	4.2	25.6
売上高																
光学領域		31,116	28,523	7,148	10,694	6,056	7,218	10,243	4,272	7,781	6,227	5,455	4,741	8,487	79.0	9.1
AIスマートフォン		20,489	18,549	3,690	8,317	3,996	4,486	7,686	1,916	5,289	3,658	1,427	1,445	4,544	214.4	-14.1
EV/コネクテッドカー		3,069	4,917	1,392	391	431	854	1,174	1,582	1,273	889	1,793	1,263	1,908	51.1	49.9
光学部品		7,558	5,056	2,066	1,986	1,629	1,877	1,383	774	1,219	1,681	2,235	2,033	2,035	0.1	66.9
半導体光学融合・電子デバイス		3,300	1,261	1,260	536	1,354	151	233	554	63	411	811	708	618	-12.6	875.8
パーツサービス・他		2,391	2,622	655	632	599	505	822	554	667	578	1,639	496	754	52.1	13.2
売上高合計		36,807	32,406	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	5,945	9,860	65.8	15.8
ALD装置比率 (%)		34%	29%	22%	47%	42%	20%	30%	19%	26%	36%	0%	3%	5%	2%	-21%
新型装置比率 (%)		44%	42%	37%	53%	52%	32%	36%	32%	41%	59%	28%	37%	53%	16%	12%
売上高総利益率 (%)																
売上高総利益率 (%)		50.1%	44.7%	50.5%	50.2%	53.9%	45.8%	52.4%	40.3%	48.1%	32.1%	33.1%	32.7%	38.5%	5.7%	-9.6%
売上高営業利益率 (%)																
売上高営業利益率 (%)		26.5%	20.3%	28.8%	34.1%	23.8%	15.0%	35.1%	-0.4%	27.9%	3.5%	9.6%	5.9%	17.5%	11.6%	-10.4%
円/ドル(期末換算)																
円/ドル(期末換算)		141.83	158.18	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	144.81	148.88	-4.07	-6.15
円/ドル(期中平均)																
円/ドル(期中平均)		137.97	148.12	134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	148.40	147.46	0.94	1.99

注: 受注高の構成比、ALD比率、新型比率は為替影響を除くベース、為替、利益率、比率の前四半期比及び前年比の欄は増減

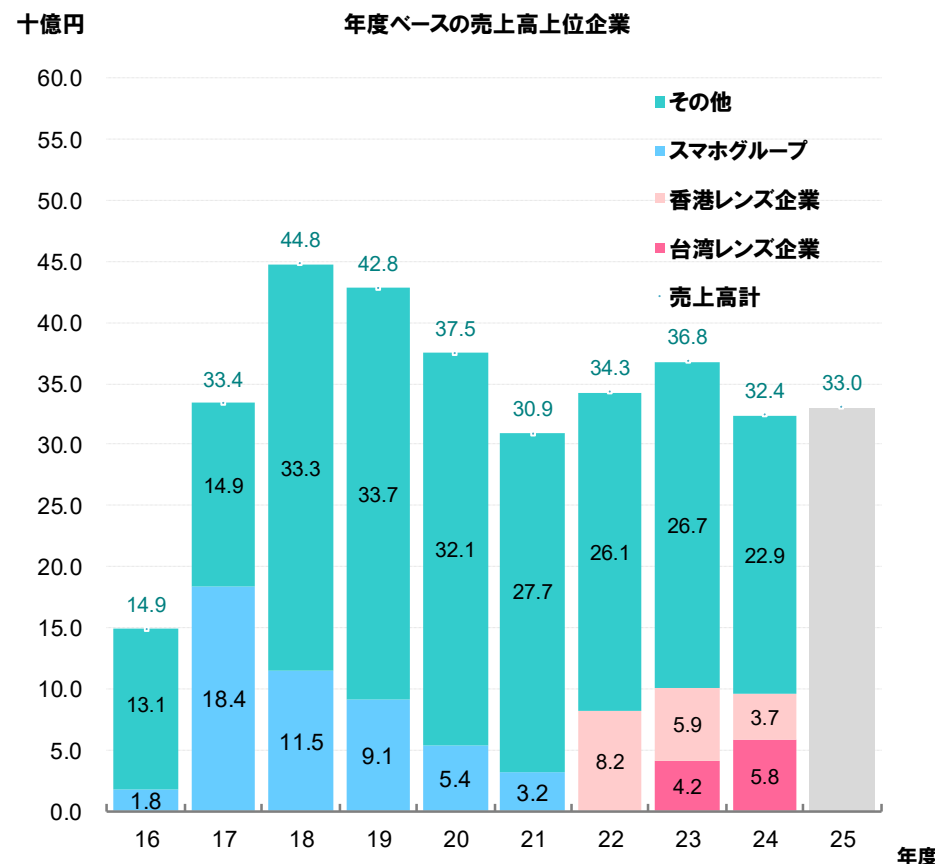
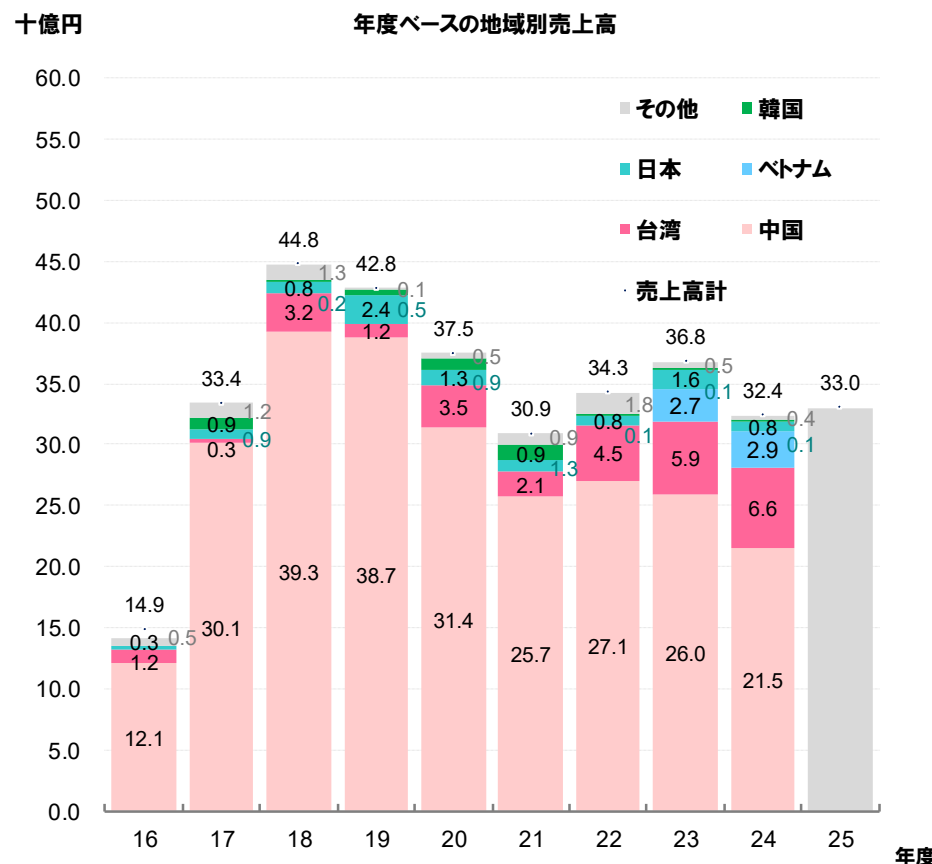
受注高はEV/コネクテッドカーが年間で拡大傾向、AIスマートフォンは回復傾向

図表5: 領域別受注高と売上高



分散化する地域別売上高、相互関税影響で納入地域が分散化する可能性

図表6: 地域別売上高および売上高上位企業の売上高



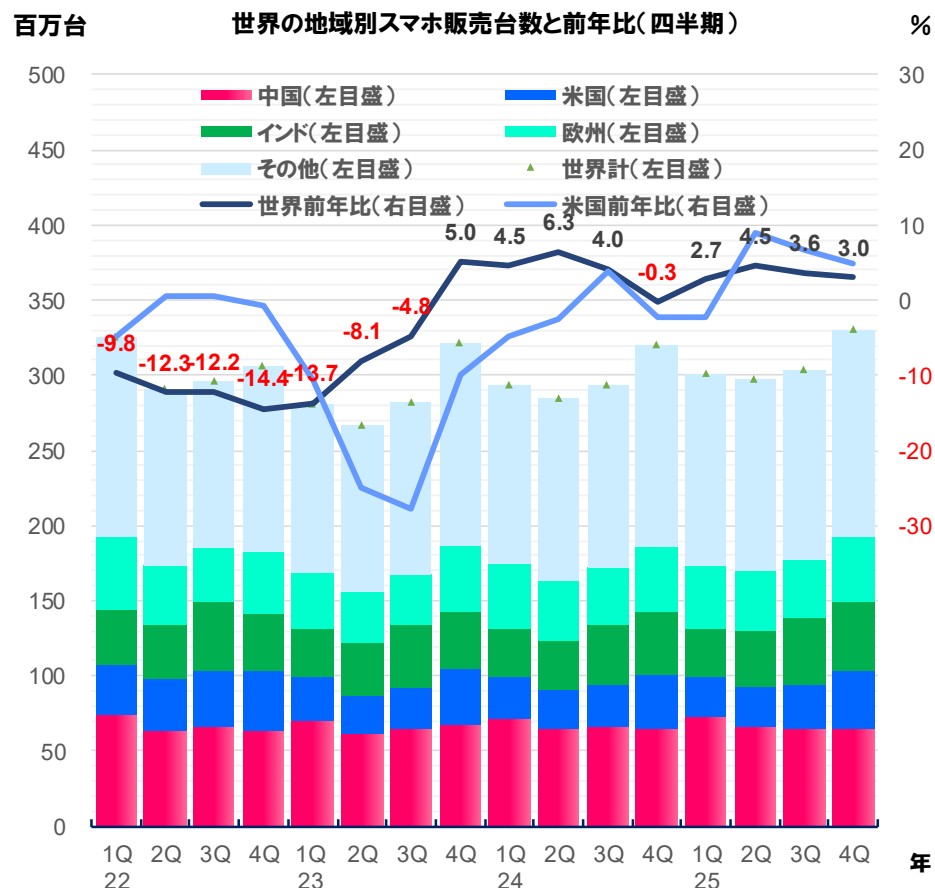
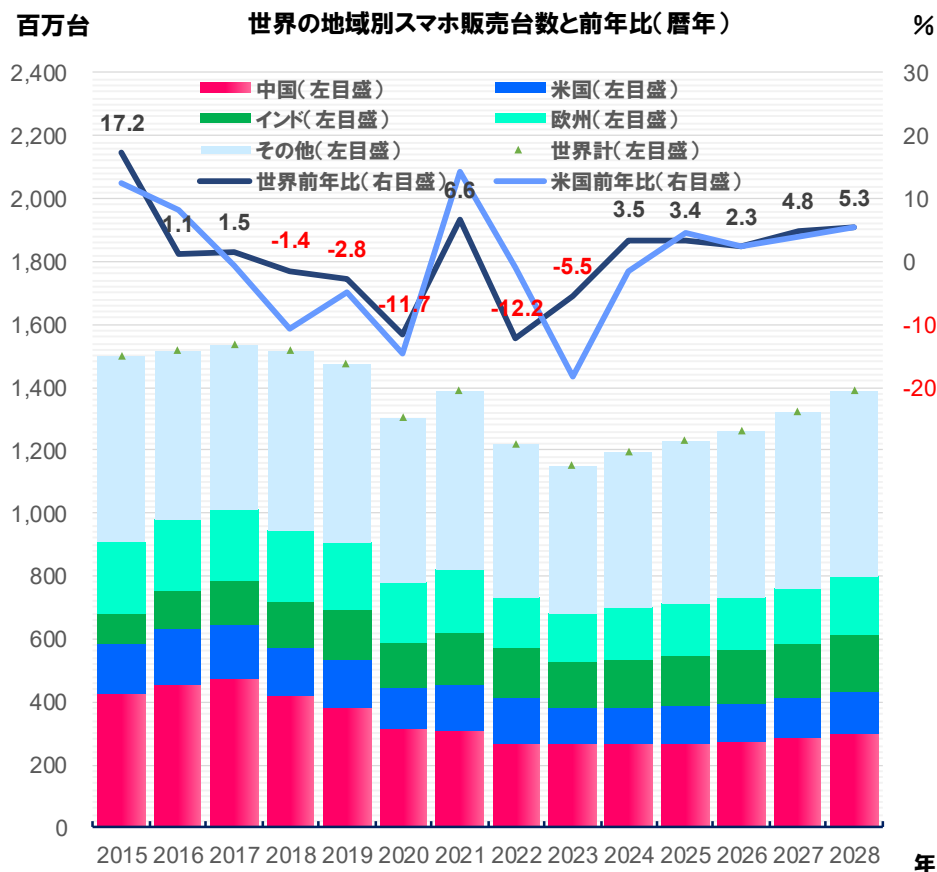
注: 売上高上位とは、売上高構成比10%以上を示す、なお、領域別分類である売上高の光学領域には、AIスマートフォン、EV/コネクテッドカー、光学部品(ミラレスカメラ用レンズ、光トランシーバ用光部品)が含まれ、半導体光学融合領域は光電子、イメージセンサー、空間コンピュータ、電子デバイス領域はグリーンエネルギー、通信デバイス、MEMSデバイスを含んでいる、パーツサービス・他は主に消耗品・改造が該当する

出所: 有価証券報告書より当社作成、25年度は予想

米国の相互関税の影響により、スマホ企業のベトナム生産増強が進展する一方、インドへの改造装置のシフトが始まっている。今後、世界最大の人口になったインドのスマホ市場が拡大すると想定されることから、インドにおけるスマホ企業の生産体制拡大が予想されます。インドの1人当たりGDPは2025年には3,000ドルを超えると判断されるため、スマホの高付加価値モデルの販売好調が続いています。当社はスマホサプライチェーンの変化に対応して販売地域を強化する予定。

スマートフォン市場はAI機能搭載製品やフォルダブル新製品で代替需要を喚起へ

図表7: 世界のスマートフォンの販売台数と前年比



出所:調査会社資料から作成、予想は当社、フォルダブルスマホの販売台数は2024年で1,620万台だが、新製品投入効果で今後急速に普及すると見られる

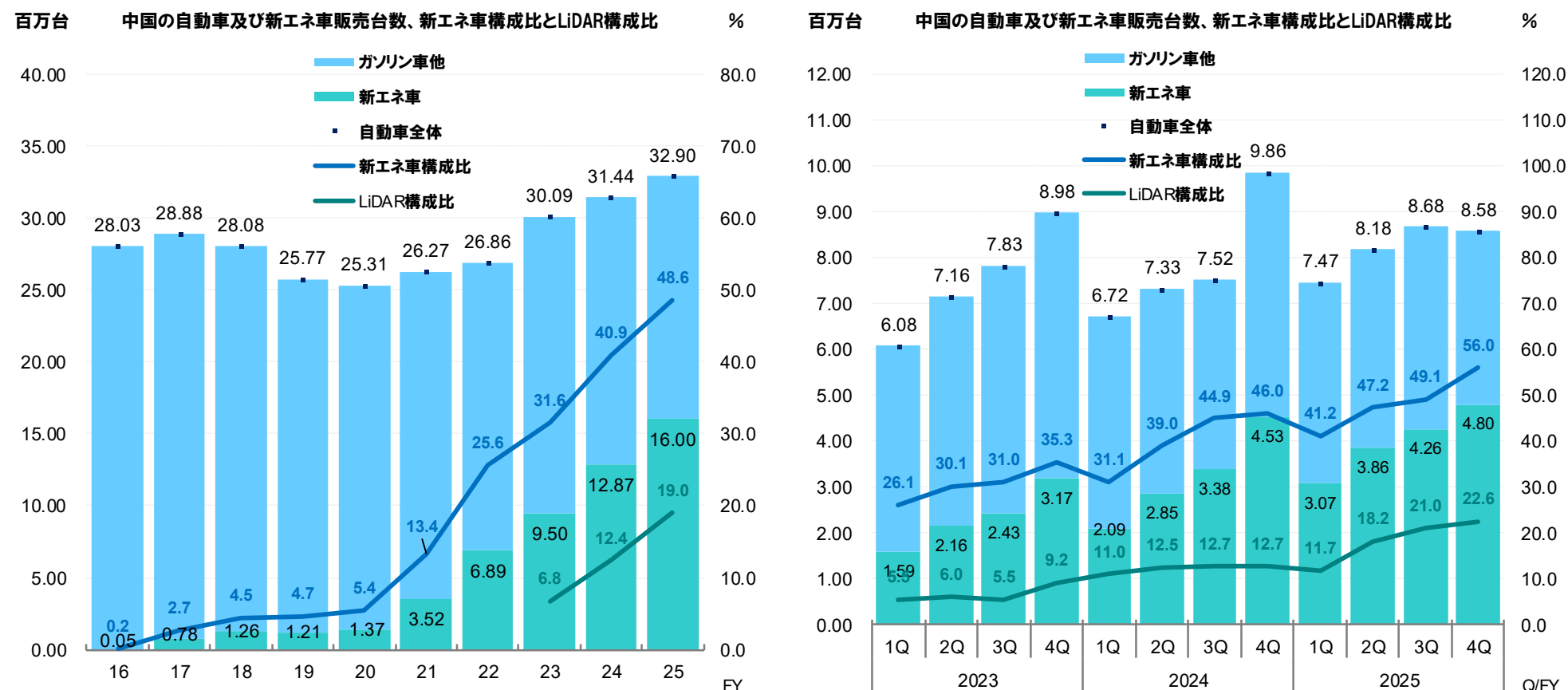
世界スマホ販売台数の当社予想は2025年が前年比3.4%増の12億3,200万台と従来予想の12億2,000万台(同2.4%増)から引き上げます。四半期別には、1Qが前年比2.7%増、2Qが同4.5%増、3Qが同3.6%増と推移し、4Qを同3.0%増と予想。3Qは中国市場が販促影響鈍化で成長率が減速したが、米国市場がスマホキャリアの販促効果で想定より上押し(同6.7%増)、インド市場が高付加価値モデルの投入効果で2桁成長(同12.9%増)を遂げた。

スマホ企業は市場の成熟化から代替需要を喚起する新製品を相次ぎ打ち出しています。スマホとタブレットのサイズを自由に転換できるフォルダブル、手のひらサイズに収まる(3.5インチ)フォルダブルのフリップモデル、シリコンカーボン技術搭載の大容量新型電池搭載モデル及び超薄型軽量モデル、自動切り替えの潜望鏡カメラ搭載モデル、光沢感のある質感(Glazed Texture)とSunburst Pattern(サンバースト模様)など加飾モデル。薄膜装置のビジネス機会が到来しています。

中国市場の新エネ車の普及が進展、自動運転用センサー搭載で付加価値を引き上げ



図表8: 中国市場の自動車及び新エネルギー（新エネ）販売台数、新エネ車構成比とLiDAR構成比



注: 新エネルギー車はバッテリー電気自動車 (EV、BEV)、燃料電池電気自動車 (FCEV、FCV) とプラグインハイブリッド車 (PHEV、PHV) を含める、LiDAR (ライダー: Light Detection And Ranging) はレーザー光を照射して、その反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術で、自動車の自動運転に必要な情報を提供、高級自動車には自動運転用ADASセンサーとしてCMOSイメージセンサー、ミリ波レーダー、超音波センサーやLiDARが搭載されている。LiDAR構成比は新エネ車販売台数に占めるLiDAR出荷個数

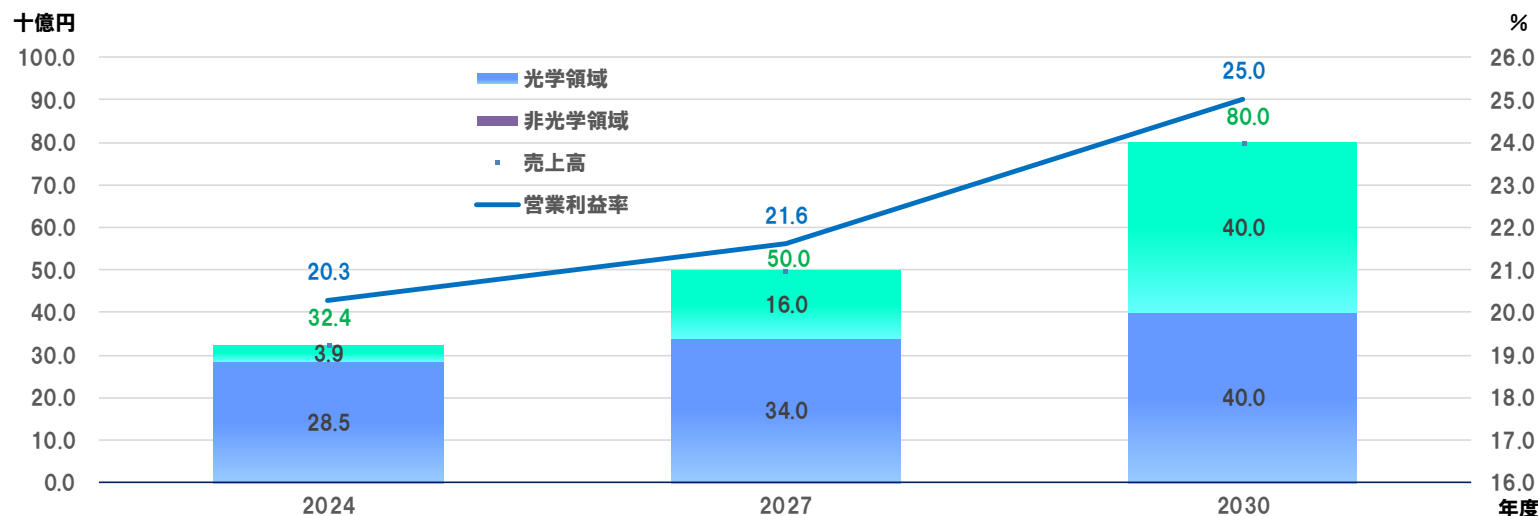
出所: 中国汽車工業協会、LiDAR企業の数値などより弊社作成、2025年4Q以降は当社予想

新エネ車は脱炭素社会の実現に向けて自動車販売台数に占める構成比が上昇していますが、内巻といわれる競争激化が発生しています。この解決策としてADASセンサーの標準搭載による高付加価値化が進展しています。米国におけるEV補助金の打ち切りが話題ですが、自動運転機能の標準搭載は世界的に普及が進むと見られます。ADASセンサーはCMOSセンサーが自動車1台に複数個搭載するのに対して、LiDARは1-2個/台のため、普及率の指標になると推測されます。

中期経営目標と長期経営ビジョン



図表9: 中期経営目標と長期経営ビジョン



□ 中期経営目標と長期経営ビジョンの骨子

中期経営目標は2027/12期業績を売上高500億円、営業利益108億円(営業利益率21.6%)、経常利益118億円、親会社株主に帰属する当期純利益84億円、ROE12%を予想。1株当たり配当金は連結配当性向30%以上の計画。為替前提は145円/ドル、21円/人民元。売上高の内訳は、光学領域340億円(2024/12期285億円)、非光学領域160億円(同39億円)の予想。長期経営ビジョンは新規ビジネスの創出で2030/12期に売上高800億円、営業利益率25%、非光学領域の売上高構成比約50%を想定。

□ キャッシュ・アロケーション

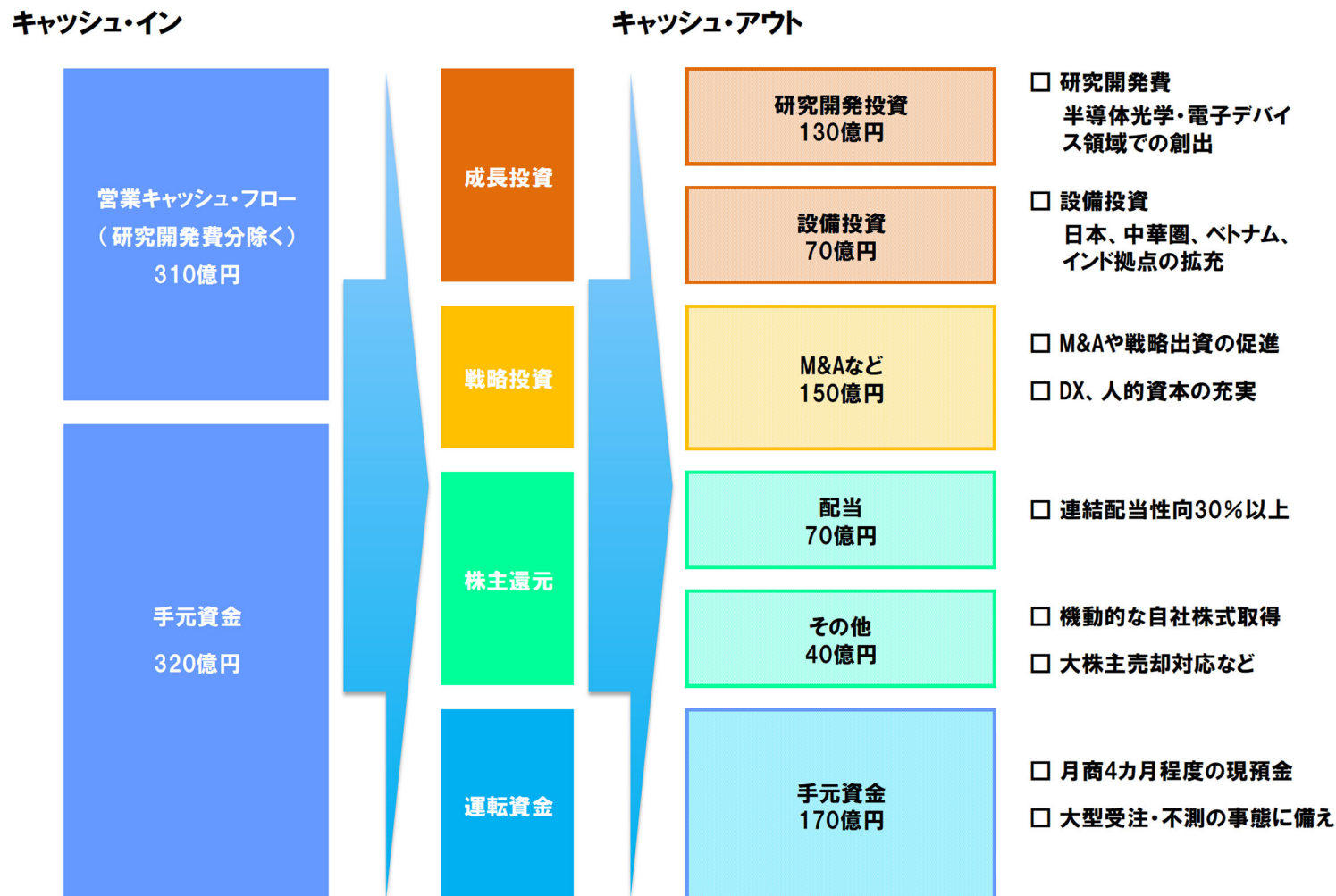
当社は株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的・戦略的な自己株式取得を検討しております。加えて、持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資やM&A・事業提携などを戦略的に実施する予定です。新型装置では、AI搭載のスマートフォン関連、EV/コネクテッドカー向けカメラ・センサの受注高増加を予想。さらに、データセンター用光トランシーバ向けWDM(波長多重装置、CWDMおよびDWDM)関連の需要急増、空間コンピュータ向けAR・VR関連も需要離陸が期待されます。

□ ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄への初選定

当社は、2025年6月にESG(環境・社会・ガバナンス)に積極的に取り組んでいる日本企業を対象とした株価指数、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に初めて選定されました。当社は創業以来「薄膜技術の限界にチャレンジすることを通じ、高度情報化社会への貢献を実現する」ことを目指し、人々がより豊かに暮らせる社会の実現に貢献すべく事業を展開しております。社会の一員として多くの方々から信頼される企業でありつづけるため、ESGの観点での取組みを事業運営に反映させてきました。今後も、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

キャッシュ・アロケーションは研究開発、戦略投資、M&A及び株主還元を重視

図表10:キャッシュ・アロケーション(24年度末時点からの3年間累計)



注:日本拠点は鶴ヶ島工場の充実に加え、川越工場の再構築、中華圏では光馳半導体の工場拡張、インド拠点の始動を想定

株主還元の重視においては、2024/12期上期において実質1円増配となる中間配当1株26円を実施。2024年8月8日には自己株式取得を公表し、同12月23日までに2,528,400株、4,779,741,400円の取得が完了した。更に2025年2月14日には自己株式公開買い付けを発表し、2025年3月17日までに250万株(1株1,658円)、41億4,500万円の取得が完了した。2025/12期1株配当金は上期が1円増配の1株27円、通期が年間2円増配の1株54円の予定。

設備投資・研究開発費計画

図表11:設備投資・減価償却費・研究開発費

日本本社 鶴ヶ島



半導体光学・電子デバイス等、先端分野研究開発拠点、2024年4月に稼働。隣接する川越工場の再構築を検討中。

半導体技術 上海

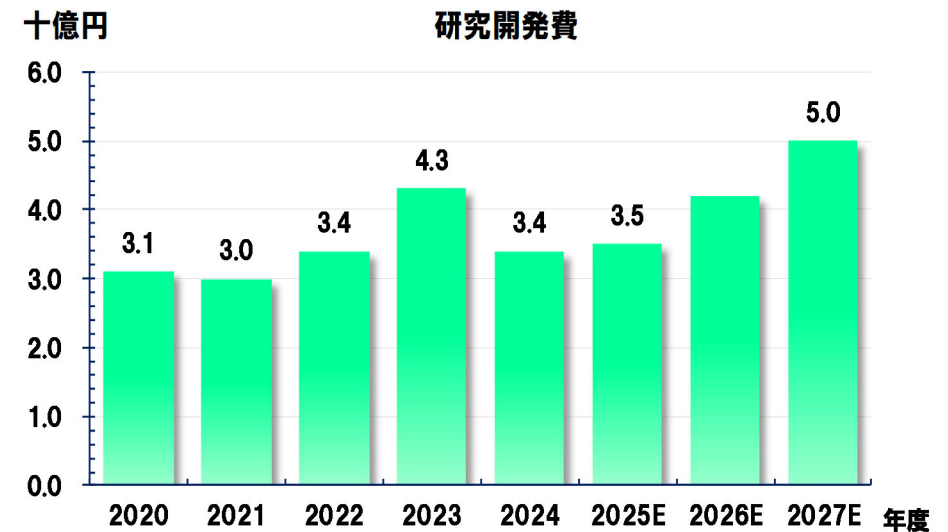
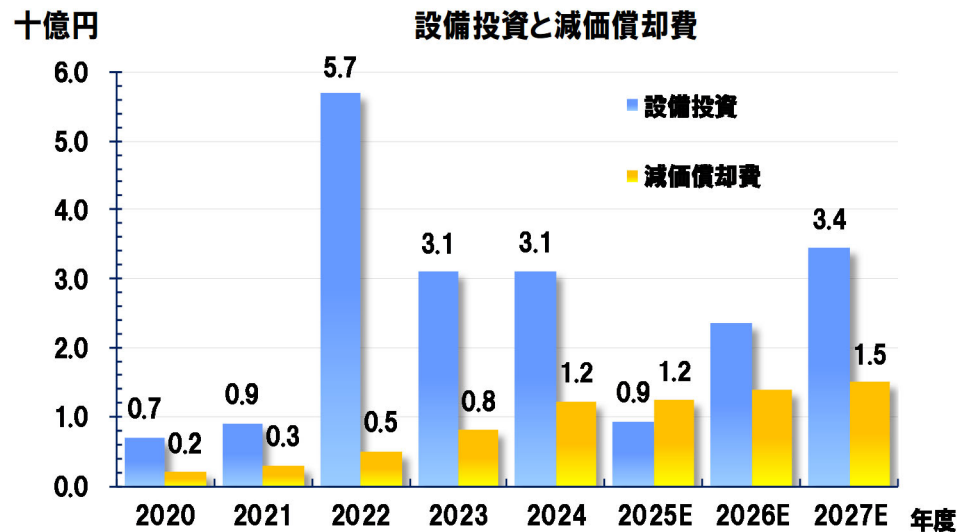


ALD装置等の新技術装置の生産・研究開発拠点、2024年1月に稼働。光馳半導体の新工場を中期的に建設を予定。

ベトナム ハノイ近郊



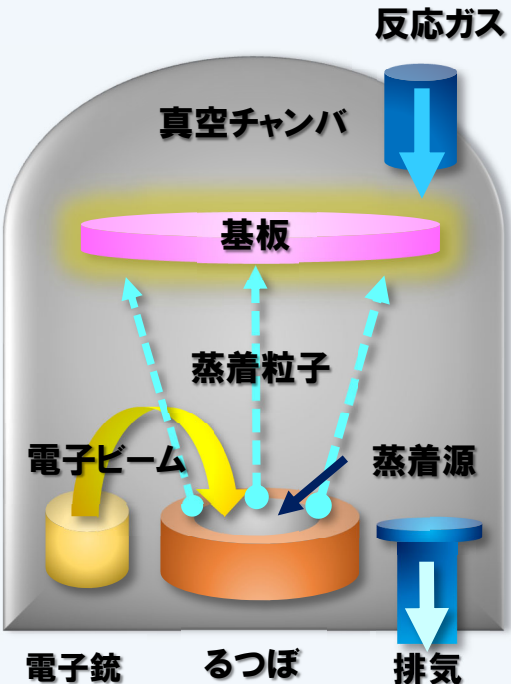
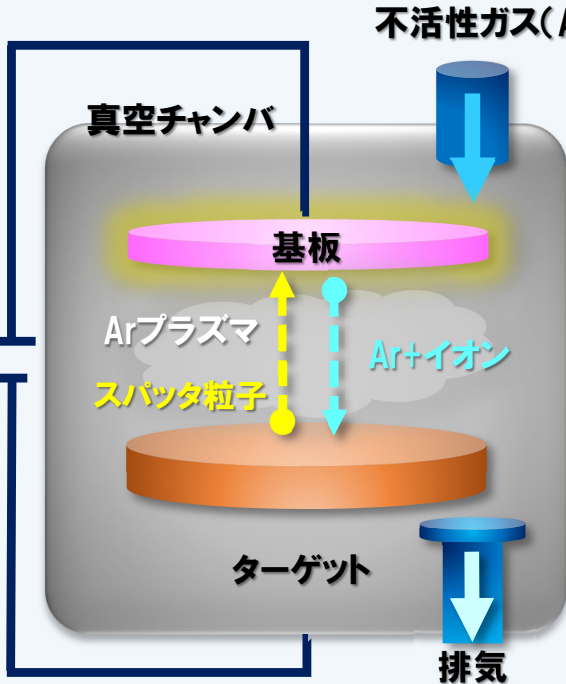
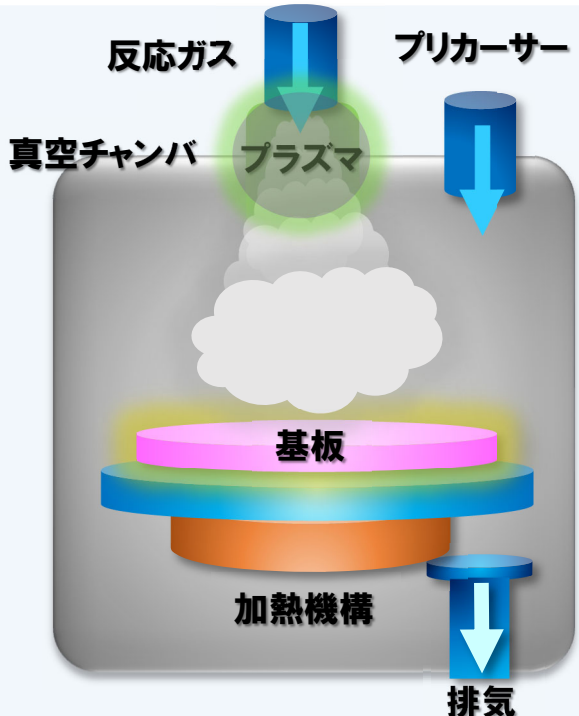
装置設計・東南アジアの顧客への装置据付・保守修理、部品加工販売2023年12月に稼働。今後拡充を検討している。



図表12: 光学薄膜技術、事業領域と出資企業



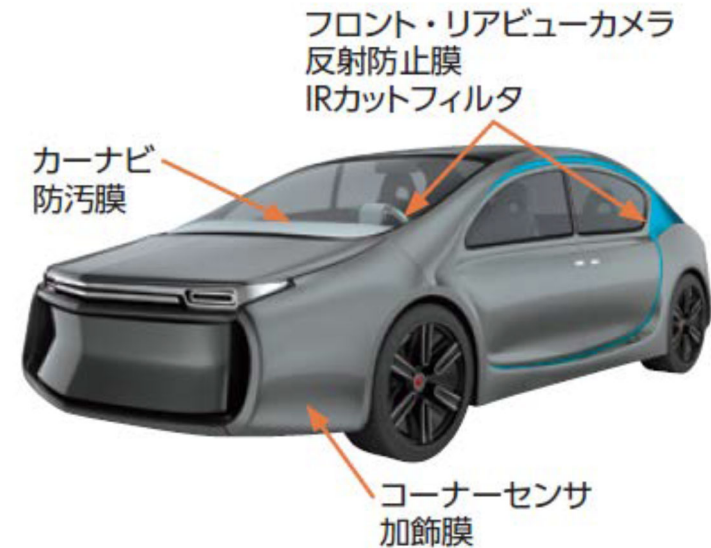
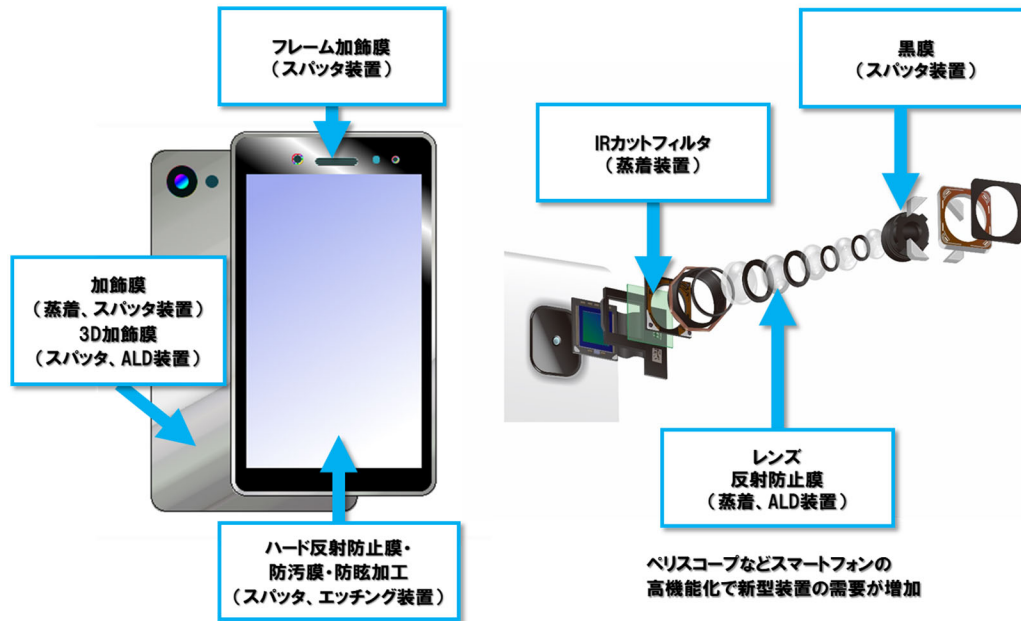
図表13:光学薄膜装置と仕組み

蒸着装置	スパッタリング装置	ALD(原子層堆積)装置
		
真空中で蒸着材料を熱して蒸発または昇華させ、基板表面に付着させることで薄膜を形成させる装置。風呂場に材料をいれ、真空加熱する様なもの。	真空蒸着における熱の代わりに、ガス分子を薄膜材料にぶつけて薄膜を形成させる装置。スパッタリングの身近な例は古くなった蛍光灯は端が黒い。	原子層レベルで膜厚を制御して平坦で緻密な薄膜を形成する装置。平面基板からアスペクト比(縦横比)の高い立体構造物まで均一に成膜できる。

光学薄膜技術と対応アプリケーション

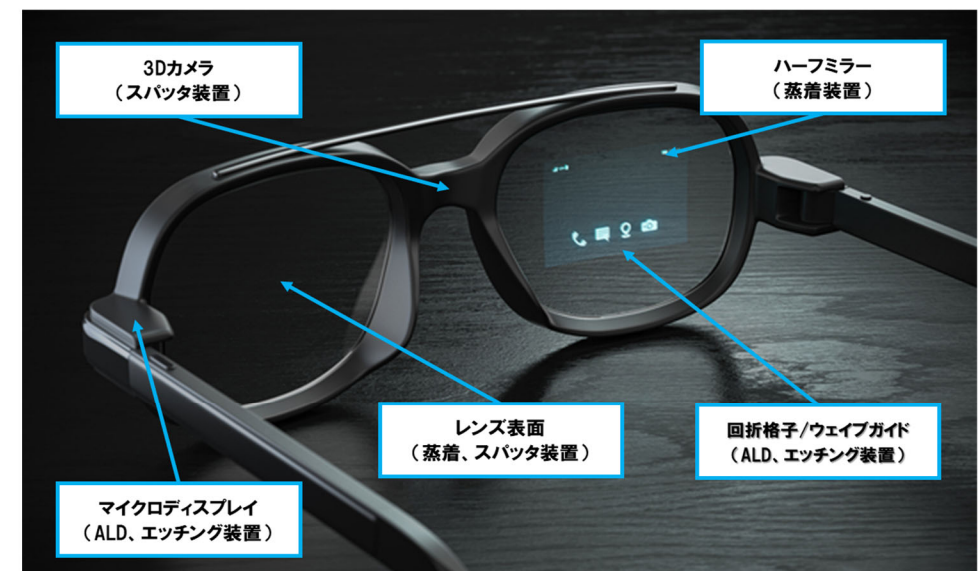
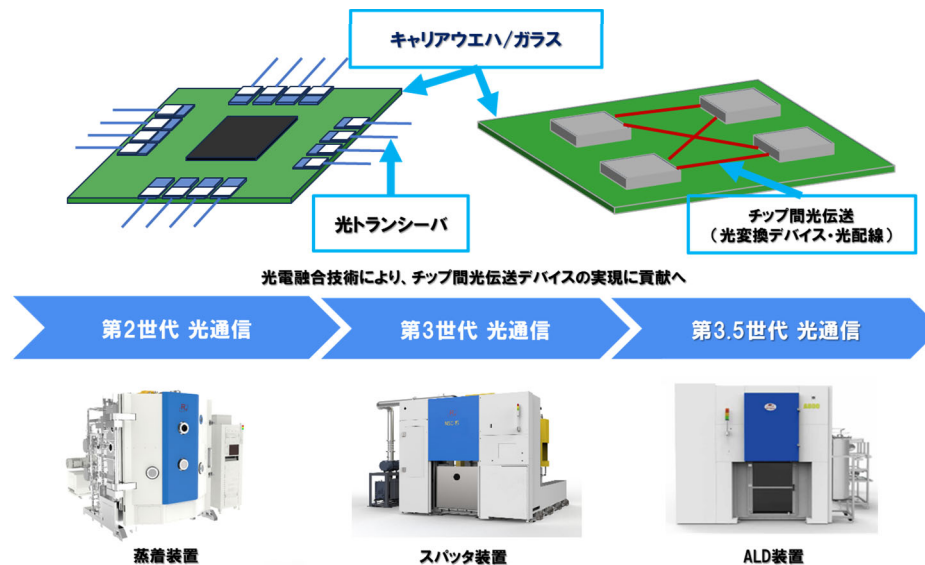
図表14: AIスマートフォン向け光学薄膜装置

EV/コネクテッドカー関連部品向け光学薄膜装置



光電融合デバイス向け半導体光学融合装置

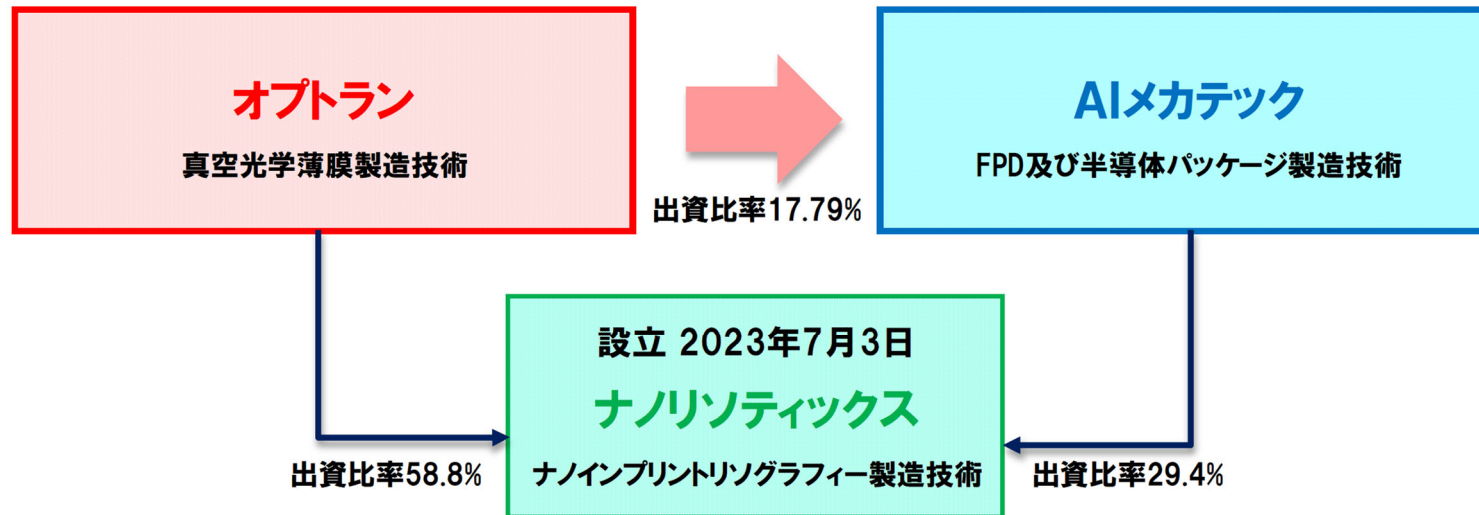
空間コンピュータ向け半導体光学融合装置



AIメカテックとの資本業務提携

図表15: AIメカテックとの資本業務提携

資本業務提携 2025年2月14日



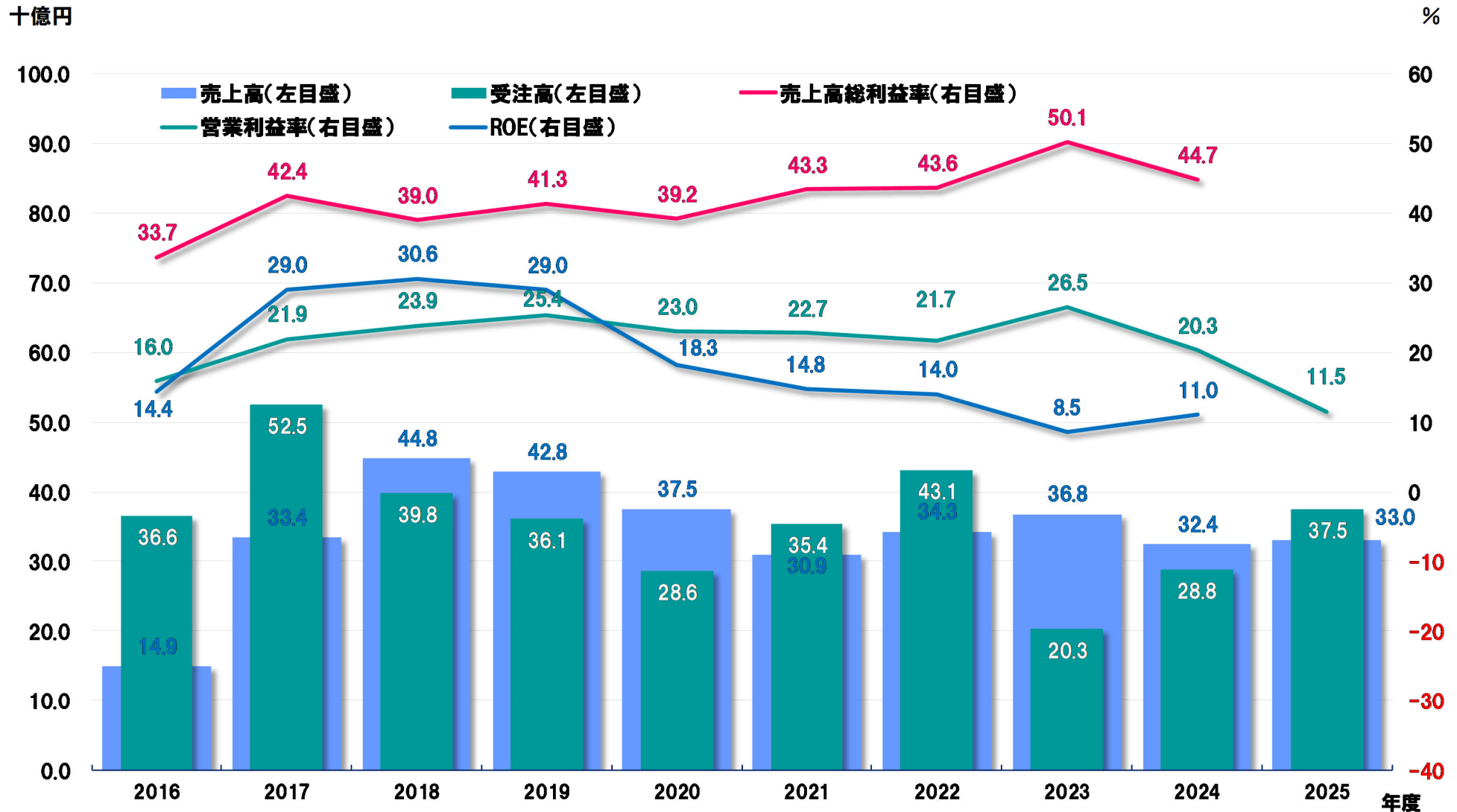
注: ナノリソティックスの表記以外の出資比率はJSR11.8%、オプトランのAIメカテックに対する議決権割合は17.82%

□ 資本業務提携の概要

1. ナノインプリントリソグラフィー事業の強化
 - ・ リソースの共有等による営業・開発体制の強化を通じた、ナノリソティックスにおける合併事業の拡大
2. 技術力の相互補完による協業
 - ・ 両社が有する技術力の相互支援による製品及び事業の強化
3. 技術力の相乗化による協業
 - ・ 両社が有する技術領域や業界情報の共有による新たな事業領域の創出
4. 協業機能の拡大
 - ・ 販売網の相互活用などへの協業範囲拡大

受注高、売上高及び収益性・収益力指標の推移

図表16:受注高、売上高及び収益性・収益力指標



注: 2025/12期の為替前提は145円/ドル、21.0円/人民元。営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円、受注高は23年度以降実質ベース

会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績

図表17: 会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績(売上高と営業利益率)

